

その4

第3章：敵とその軍隊

戦術の第一の戒めの一つに「汝の敵を知れ」というものがあります。

“これは、霊的な戦いの分野にも当てはまります。

私たちは、サタンの策略を知らないでいるわけにはいきません（2コリント2：11）。

私たちがサタンとその方法について知らないと、サタンの仕事がやりやすくなるだけです。聖書は、サタンとその悪魔の大群について膨大な量の情報を明らかにしています。

それは、私たちの敵が誰なのか、どのように働くのか、そして、どのようにすれば彼の策略に対して強く立ち向かえるのかを知るためです。

私は、悪魔に報道の時間を与えても、何の喜びも感じません。
不愉快かもしれませんが、これは必要なことなのです。

悪魔についての神学が必要なのは、私たちが2つの相反する、そして同じくらい危険な極端な状態から逃れるためです。

まず、多くの人がサタンの存在を無視したり、信じなかったりします。

サタンは、私たちの文化の中では、神話や伝説、過去の迷信的な時代に否定された非科学的な概念にすぎないと考えられています。

サタンは、赤いスーツを着て、マントと尻尾と投石器を持った、悪魔のような小さな男のような人物として描かれています。

悪魔に関して無知なのは世界だけではなく、教会でもその存在と実在は否定されています。最近、バーナ社が1800人以上の「自称クリスチャン」を対象に行った調査によると、「10人中4人が、サタンは『生き物ではなく、悪の象徴である』と強く信じており、さらに10人中2人が『どちらかといえばそう思う』と答えている」という結果が出ています。

つまり、「クリスチャン」の60%は、サタンは悪の象徴であって、実在する生き物ではないと考えているのです。

これでは、教会がサタンのあらゆる策略の犠牲になるのも無理はありません。

教会のほとんどの人は、自分たちに本当の敵がいるとは思っていないのです。次に、多くの人がサタンとその力に夢中になっています。

サタンの存在を信じるだけでなく、実際の力よりもはるかに大きな力、影響力、能力をサタンに帰属

させてしまう人がたくさんいます。

彼らは、あらゆる茂み、あらゆる岩の下、あらゆる出来事の背後に悪魔を見ています。

多くのクリスチャンは、サタンとその悪霊に対する絶え間ない恐怖の中で生活しています。

彼らは、何かに触れたり、何かのそばを通ったり、何かを言ったりすることで、自分の人生に悪魔の足がかりや影響を与えることを恐れています。

悪魔への関心は、キリストにある勝利から、悪の力の犠牲になっている自分自身へと焦点を移すのです。

天の場所にいる邪悪な力に対抗するためには、敵を知り、その方法を理解する必要があります。この章では、私たちが両極端を避けることができるように、サタンについてのごく簡単な神学を説明します。

悪魔の簡単な歴史 聖書には、サタンに関する記述が数多くあり、様々な名前と呼ばれています。旧約聖書では7つの書物で言及されています。

新約聖書では、すべての著者がサタンについて言及しています。

福音書の中だけでも、サタンは29回も登場しています。

そのうち25回はイエスが言及しています。

サタンは、人類の歴史のごく初期（創世記3章）、庭にいる最初の両親の前に現れます。

モーセは創世記を書く際に、悪魔がどのように存在するのか、なぜ存在するのか、何が悪魔を悪者にしたのかを説明していません。

モーセは、読者がすでにサタンの存在を信じていることを前提にしています。聖書の中でサタンに関する最後の記述は、サタンの破滅を予言しています。

「そして、彼らを欺いた悪魔は、獣と偽預言者のいる火と硫黄の池に投げ込まれ、彼らは昼も夜も永遠に苦しめられる」（黙示録20：10）。

第一に、サタンは創造された存在であることを知っています。

三位一体の神の第二位であるイエス・キリストは、万物の創造主であり（コロサイ 1：15－16）、それにはすべての天使たちも含まれます。

この宇宙の中で、創造されていない永遠の存在はただ一人、それが神です。

神は悪を創造したり、悪の存在を創造したりしませんでした。

天使は、神が「非常に良い」と宣言した神の創造の一部でした（創世記1：31）。

天使が創造された時期については、断定することはできません。

天使が創造されたのは、天地が創造される前のことだと言ってよいと思います。

創世記1章の創造の週にあったのかもしれませんが。

創世記3章では、サタンが創造され、反抗しました。

つまり、サタンの墮落は、創世記1:31の「非常に良い」から創世記3:1のこの誘惑者の出現までの間に起こったのです。天使がいつ創造されたのか、創造からどれくらい経ってからサタンが墮落したのか、正確なことは分かっていません。

第二に、サタンは生きた人格者であることが分かっています。

彼は、人格のすべての特徴を持っています。彼は知性を持っています。

サタンは狡猾で、計画を立て、あらゆる手段を使って神に対抗します。

彼は、神の計画と神の民に反対します。騙したり、計画を立てたりする彼の能力は、彼の知性、理性、感情、そして意志の証拠です。

彼の性格を示すもう一つの証拠は、イエスを含む他の人々とコミュニケーションをとる能力です（Luke 4：1－12）。

サタンは、単なる力、勢力、神話ではありません。

彼は伝説でも、象徴でも、悪の化身でもありません。

彼は、知性、技術、意志、計画、そしてその計画を実行する能力を持った実在の人物なのです。

聖書の中では、サタンには人称代名詞が使われています。これらのことは、サタンが個人的な存在であることを示しています。

彼は人間ではありませんし、かつては人間ではありませんでした。サタンは人間ではなく、かつて人間だったわけでもなく、創造された存在、ケルブ（天使の種類の一つ）です。

第三に、サタンは墮天使であることがわかっています。サタンは、神が創造した天使の中で、かつては非常に重要で目立つ地位にいました。

旧約聖書の2つの箇所では、サタンの元々の状態と、その地位からの転落について書かれています

（イザヤ書14章とエゼキエル書28章）。エゼキエル書28章は、「タイレの指導者」（2節）に宛てて書かれていますが、12節からは「タイレの王」に宛てて書かれており、エゼキエルが人間を描いている可能性を排除するような表現になっています。

2節から10節までは、実際の人間の王に宛てたものですが、11節から19節までは、その支配者を活気づけていた邪悪な霊的な力、すなわちサタンについて書かれています。

この節は、人間である「タイアの王子」に宛てたものではありません。この詩は、人間である「タイアの王子」に宛てたものではなく、サタン自身に宛てたものです。

人の子よ、タイアの王のことを嘆いて、彼に言いなさい。

ルビー、トパーズ、ダイヤモンド、ベリル、オニキス、ジャスパー、ラピスラズリ、ターコイズ、エメラルドなど、あらゆる貴石があなたを覆っていた。

また、セッティングやソケットの細工である金もあなたの中にあった。

あなたが創造された日に、それらは準備されました。あなたは、覆いをする油を注がれたケルブであり、私はあなたをそこに置いた。あなたは神の聖なる山にいて、火の石の中を歩いていました。あなたは創られた日から、あなたの中に不義が見出されるまで、その道において罪のない者でした」。

（エゼキエル28：12-15）。

エゼキエルはさらに、サタンの墮落とそれに対する神の裁きについて述べています。覆いのケルブであるサタンは、“暴力に満ちて“罪を犯した“ので、“神の山から不敬虔な者として投げ出された”（16節）のです。

彼の心は「高められ」、「その輝きのゆえに、その知恵を汚した」（17節）のです。これらの節は、彼の墮落を表しています。

イザヤは、バビロンの王に対する預言（イザヤ 14：4－23）の中で、同じ文学的な工夫を用いて、バビロンの王の背後に、「天から落ちた者」、「朝の星、夜明けの子」、「国々を弱らせた者」（12節）を垣間見せています。

これは、心の中で「私は天に上り、神の星々の上に王座を置き、北の奥にある集会の山に座ろう」と言ったサタンを表しています。私は雲の高みに登り、自分を最も高い者のようにしよう」（13-14節、創世記3：15参照）。

サタンは、かつて神のケルブ（天使）の一人として、神の宮廷に住んでいました。彼は、美しく、輝かしく、愛らしく、栄光に満ちた天使でしたが、彼の中に不義が見出されました。

高慢さが災いして、サタンは天から追放され、おそらく新しく作られた地球に投げ出されました。第四に、聖書がサタンに与えている名前から、私たちはサタンについて多くのことを知っています。

「サタン」という名前は「敵対者」という意味で、神とその計画と目的に反対する者としての彼の本当

の性格を示しています。

サタンは「悪魔」とも呼ばれています。”これは、サタンの名前の中で2番目によく使われる名前です。「悪魔」とは、ギリシャ語のディアボロス（διάβολος）の訳語で、「誹謗中傷を行う者、中傷者」という意味です。

これは、神とその民を非難し、中傷し、引き裂く者としての彼の活動を表しています。第一ペテロ 5：8 は、この悪魔を「ほえたける獅子のように歩き回り、だれかを食い尽くそうとしている悪魔」と呼んでいます。

彼は、エバを誘惑するときに蛇を使ったので、「蛇」とも呼ばれています（創世記 3：1－6）。

この名前は、その狡猾さ、巧妙さ、魅惑的な性質を表しています。

その力と影響力の範囲は、彼が「空中の力の主」と呼ばれていることからわかります（エペソ 2：2）。彼が「この世の神」と呼ばれているのは、彼が現在の世界システムを一時的に支配していることを示しています（2コリント 4：4）。

この世の神であるサタンは、真実を知らない人々の目をくらませるために忙しく働いています。その結果、「現在の悪の時代」（ガラテヤ 1：4）において、「全世界が悪の力の下にある」（1ヨハネ 5：19）とされています。

彼が「誘惑者」（1テサロニケ 3：5）と呼ばれるのは、彼の働きの大部分を意味しています。彼のやり方が壊滅的に破壊されることから、彼は「竜」と呼ばれています（黙示録 12：3－4, 7, 9, 13, 16－17）。

最後に、彼は「邪悪な者」（ヨハネ 17：15、1ヨハネ 5：18-19）、「嘘の父」（ヨハネ 8：44）と呼ばれています。

これらは彼の名前のほんの一部に過ぎません。

これらの名前は、彼の働きを表しているだけでなく、彼の性格を表しています。

私たちはサタンの策略を知らないわけではありません。

聖書はサタンの創造と性格について多くのことを明らかにしているだけでなく、彼の策略についても教えています。

サタンは策略家です。

サタンは、神がなさることすべてに反対します。

たとえそれが自分の没落や破滅を意味するものであっても（実際そうなのですが）、神のすべての計画や目的を阻止しようとします。

私たちは、「悪魔の策略に対してしっかりと立ち向かう」（エペソ 6：11）ために、「彼の策略を知らない」（2コリント 2：2）ことがあってはならないのですから、彼のやり方の一端を知っているのです。

多くのクリスチャンが陥っているのは、サタンの計画や策略にまったく無知であることです。

しかし、聖書に目を向けると、サタンの活動とその目的について知る必要があることがわかります。

サタンは、人々が罪を犯して神から離れるように誘惑します（マタイ4：3、1テサロニケ3：5）。サタンは、この世のあらゆる偽りの宗教を活気づけ、促進します。

すべての偶像崇拜や偽りの宗教は、悪魔への生け贄であり、悪魔を崇拜しているのです（1コリント10：20）。彼はすべての欺瞞と偽りを生み出しています。そのしもべたちの助けを借りて（2コリント11：15）。彼は、偽りの教師を鼓舞し（1ヨハネ4：1-4、1テモテ4：1-3）、真理と光の旗の下に、魂の腐った誤りを宣伝します（2コリント11：14-15）。

彼はクリスチャンを不当に非難し、人々を騙してその不当な非難を信じ込ませることを好みます。彼は、教会を分裂させ、不和をまき散らし、平和を破壊することを好みます。

家庭を分裂させ、兄弟の間に争いを引き起こし、教会や家庭の一致を損ねようとします。

これらはサタンの仕業です。

すべての反神的、世俗的な考えはサタンの影響を受けています。全世界はサタンの力の下にあり（1ヨハネ5：18-19）、全世界のシステムはサタンの創造物です（1ヨハネ2：15-17）。神に敵対するあらゆる考え方、あらゆる哲学、あらゆる偽りの教義、あらゆる嘘、神の真理に反して提起されるあらゆる世界観、宗教、思想はサタンからのものです（2コリント10：3-5）。

サタンの嘘を宣伝したり、擁護したり、信じたりする人たちは皆、サタンの餌食になっており、知ってか知らずか、サタンの言いなりになっています。

彼は自分の嘘やごまかしを正直に表現することはありません。

彼は罪を魅力的に見せているが、実際には魂を腐らせる毒です。

彼は人を騙して、快楽を盗んでも借金を払わなくて済むと思わせます。

彼は光の天使のように見えます。彼は過ちを真実のように装い、真実のように聞こえ、真実のように見え、真実のように感じさせる。

彼は暗闇を隠し、人々が完全な霊的暗闇の中を歩いているのに、光の中を歩いているように思わせて騙します。

彼は、嘘を信じ込ませ、罪を好ましいものとし、誘惑を避けられないものとし、誤りを抗しがたいものとするのに、驚くほど効果的です。

あまりにも効果的なので、私たちが彼の嘘を見抜くことができる唯一の希望は、真理に精通していることです。

私たちは、真理に精通し、真理に忠実であり、真理を行う者でなければ、彼の嘘を見破ることはできません。

神の言葉がなければ、私たちは格好のアヒルです。

サタンの軍隊 私たちは、サタンの創造、性格、仕掛けを見てきました。

聖書には、サタンの仲間についても書かれています。サタンは一人で働いているわけではありません。サタンは一人で働いているのではなく、悪の目的のためにサタンと協力している悪霊たちがいます。サタンは悪霊の支配者であり（Matthew 12:22）、彼らはサタンの言いなりになります。彼らは、神とその民に対抗するために、サタンと一体となっています。

聖書によると、これらの悪霊はサタンと同じ時期に罪を犯しました。聖書によると、これらの悪霊はサタンと同じ時期に罪を犯し、サタンの反乱に加わり、サタンの破滅にも加わることになります。イエスは「悪魔とその天使たちのために用意された永遠の火」について語っています（マタイ25:41）

ヨハネの黙示録 12:4 はサタンの墮落について述べており、サタンが天使たちの3分の1を連れて行ったことを示しています。

他の悪霊たちも、元々は神によって完全なものとして創られ、同じように墮落しました。

彼らは、サタンのように、生きていて、実際に存在する個人的な存在です。彼らは今日、世界で活動しており、先にサタンに起因するものと同じ悪魔の活動に関与しています。聖書の中で、彼らは「汚れた霊」（マタイ10:1）、「悪魔」（マタイ12:24）、「悪霊」（ルカ7:21）と呼ばれています。

イエスの宣教活動の多くは、悪霊に取り憑かれた人たちを救い出すことでした。悪霊に取りつかれた人々は、異常な力を発揮しました（マルコ5:1-5；使徒19:13-16）。

新約聖書では、悪魔は被害者に様々な病気や精神的な混乱を与える能力を持っていたと思われます。ロバート・ライトナーは次のように述べています。「悪魔は、口がきけない（マタイ9:33）、目が見えない（マタイ12:22）、一種のてんかん（マタイ17:15-18）、精神錯乱（マルコ5:1-20）など、さまざまな病気を人に与えました」。

今日、悪魔はこのようなことをするのでしょうか？聖書はこの質問に答えていませんが、悪魔はそのようなことをする可能性がありますし、おそらく時々するでしょう。

しかし、すべての身体的・精神的な病気が悪魔の活動の結果であるとは限りません。

新約聖書の時代にも、この2つは区別されていました（マタイ4:24、ルカ7:21）。9]

サタンの制約

神の言葉の中には、サタンの創造、性格、計略、仲間、そして制限事項についても書かれています。ここまで書いてきたことは、おそらくパニックや恐怖、眠れない夜や不安発作を引き起こすでしょう。

しかし、これは全容ではありません。

サタンとその悪魔を扱うには、彼らの限界も知らなければなりません。

まず、悪魔は人間よりも知識が豊富ですが、全知全能ではありません。

天使は偉大な知恵（2サムエル14：20）と知識（マタイ24：36）を持っていると考えられています。墮天使でさえ、自然界を超えた知識を持っています（ルカ4：34）。

しかし、彼らは全知全能の存在ではありません。
神のみが全知全能なのです。

第二に、悪魔は人間よりも強いとはいえ、全能ではありません。

天使の方が力も強さも上だと言われています（2ペテロ2：11、詩篇103：20）。

天使は「力ある天使」と呼ばれています。”悪魔はその墮落した状態においても、全能ではないにもかかわらず、人間に対する力と優位性を保持していました（使徒19：13－16）。

神のみが全能である。

第三に、悪魔は人間よりも動けるが、遍在しているわけではない。

悪魔は地上を歩き回らなければなりません（ヨブ記1：7、ゼカリヤ記1：11、1ペテロ5：8）。天使は移動しなければならず、瞬時に移動できないために遅れることもあります（ダニエル10：10－14）。

サタンは一度に複数の場所にいることはできません。

神だけが全知全能なのです。

サタンの力に対する重要な制限は、ヨブ記1-2章に見られます。

神が「ヨブとその家と、彼が持っているすべてのものの周りに、四方八方から生け垣をめぐらせた」（ヨブ記1：10）ため、サタンはヨブが持っているものに触れることも、ヨブを苦しめることもできませんでした。

サタンがヨブの財産（ヨブ1：12）や健康（ヨブ2：6）に触れるには、神の許可を得なければなりませんでした。

私たちは、神が主権者の手で、主権者の目的のために、そして神の秘密の意志に従って許可しない限り、サタンは何もできないという事実にも慰めを得ることができます。

サタンは、神が彼に自由を与えたことしかできません。

神の許可なしには、いつでも、どこでも、誰に対しても、何もすることができません。

サタンは、主人の鎖につながれた犬のようなものです。

神はサタンに、ここまでやってそれ以上はできない、ここまでやってそれ以上はできない、ということを許しているのです。

神は、サタンがある程度自由に計画を遂行できるようにしているのです。私は、神は許可している以上にサタンの悪を抑制していると信じています。

神はすべてのものに対して主権を持っており、それにはサタンとその悪魔、彼らの邪悪な計画、彼らの活動も含まれます。

サタンは神ほど強力ではありませんし、神はサタンを倒そうとしているわけではありません。サタンは砕かれ、敗れた敵であり、その運命は確かなものです。

結局、サタンが高慢な反抗に陥った瞬間に、サタンの運命は決まってしまったのです。神が王座から落ちることも、神の計画や目的が失敗することもあり得ないからです。

サタンの終わりと滅びは、十字架の上で公に保証されました。

サタンの終わりと滅びは、イエスが「支配者や権力者の武装を解いて、彼らに勝利したことを公にした」（コロサイ2：15）十字架上で公に確保されました。

イエスは、死によって、「死の力を持つ者、すなわち悪魔を無力化した」（ヘブル2：14-15）のです。

第一ヨハネ3：8は、「神の子は、悪魔の働きを滅ぼすために、この目的のために現れた」と言っています。”彼は確かにそうしました。この世の支配者は裁かれました（ヨハネ16：11）。

クリスチャンの反応

私たちはどのように反応すべきでしょうか。私たちが避けなければならない2つの極端なことを覚えていますか？

サタンを無視し、その存在を信じず、彼の計画に全く関心を持たないことは、非常に現実的で非常に

危険な敵に対して盲目になることです。

サタンに固執し、彼に夢中になることは、すでに敗れた敵にあまりにも多くの注意を払うことになります。

バランスのとれた、中間的なアプローチもあるでしょう。

最初の間違いを避けるためには、私たちは警戒しなければなりません。

私たちは敵を、その戦術を、その限界を知らなければなりません。

私たちは、敵の分断、欺瞞、破壊の計画に知恵を絞る必要があります。

私たちは、悪魔の攻撃を見分け、それに立ち向かうことができなければなりません。

私たちは、真実と誤り、正しいことと間違っていることの違いを見分けることができなければなりません。私たちは、頭を上げてゲームに参加し続ける必要があります。ある程度の警戒心を持つことは適切なことです。

私たちは、時勢を知り、真実を見極めながら、慎重に歩まなければなりません。

第二の過ちを犯さないために、私たちは毅然としていなければなりません。

私たちは、私たちのために確保されている勝利、武装、安全に安住しなければなりません。

キリストは勝利を収めました。サタンには限界があります。彼は活動していますが、敗北しています。

チェックメイト」は確保されており、あとは時間の問題で、いくつかの動きをすれば、勝利者が現れて、すべての敵を倒すことができます。私たちはキリストの中にいるので、サタンに奪われることはありません（John 10:25-30）。

私たちの救いは安全です。

死やあらゆる敵に対する勝利は、キリストによって保証され、キリストの復活によって確証されています（1コリント15:50-58）。

私たちは、悪魔の策略に対抗するために必要な霊的な武具を持っています（エフェソ6:10-17）。

キリストは、私たちが必要とするすべてのものを備えてくださっています-私たちはそこに立たなければなりません

サタンとその悪霊に関する聖書の教えを理解することで、私たちはサタンの誘惑や攻撃に負けず、常にサタンを恐れて生きることができます。

警戒してください。信仰の中でしっかりとしてください。